

手紙を書いてつたえよう

B

実践概要

読点で分けた複数の文の内容を理解し、どの順序で書くとより伝わりやすいか考える。より良い構成にするために、短冊を試行錯誤しながら操作し、自身の考えを確立していく。

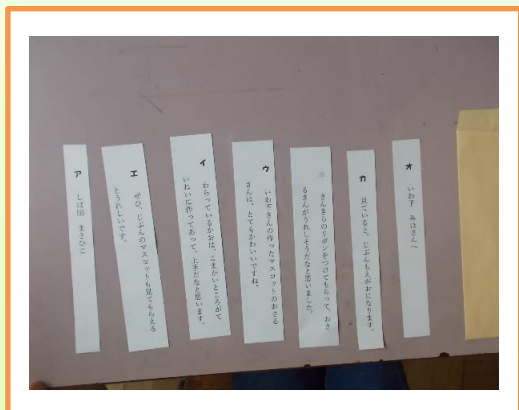
使用教材（製品名）・ICT環境（OS名等）

ひろがることば 国語2上（教育出版）
短冊

単元計画（全3時間）

	主な学習活動	●指導上の留意点・◇評価内容等
一次	○手紙の構成について知る。 ○短冊に友達の名前や作品の良いところなどを書く。	●友達に手紙を書くことを目的にする。 ●短冊を用意することで、順序を入れ替える活動を体験する。 ◇友達の名前や作品の良いところを見付けることができる。
二次	○どの順序で書けば気持ちが伝わるか考える。 ○例示された文章の短冊が、より相手に伝わりやすいように、文の順序を考える。	◇どの順序で手紙の内容を書けば、相手に気持ちが伝わるかを考えるために、短冊を用意し、入れ替える操作を行いながら考えることができる。
三次	○自分で書いた短冊を基に、相手に手紙を書く。	◇語と語や文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くことができる。

ここに注目！（本事例のポイント）



個人で試行錯誤するために、児童一人一人に短冊を渡した。その後のグループでの話合いに活用することができた。



試行錯誤させたことで、児童はより伝わる文の並び方を考えることができた。